

第3回庄内地区子どもたちの声を聞く会

期日：令和2年1月22日（日）19:00～

場所：庄内地区公民館

1. 私の夢

都城市立菓子野小学校 6年 田中 萌々珂

2. わたしたちの考える「庄内町の幸福論」

都城市立庄内小学校 6年 大野 愛里

3. 事故のない町を目指して

都城市立乙房小学校 6年 内野宮 慶汰

4. 庄内の良いところ

都城市立庄内中学校 1年 蒲生 帆椋

5. 私の好きな庄内

都城市立庄内中学校 2年 福田 帆乃夏

私の夢

都城市立菓子野小学校 6年 田中 萌々珂

私の夢は美容師です。発表はこのような順番で進めていきます。

まず、私が美容師になりたいと思った理由は、いとこのおとうさんに憧れたからです。私も大人になったらいとこのおじさんのような美容師になりたいと思いました。

次に仕事の内容です。仕事内容は、カット、ドライヤー、シャンプーなどがあります。その他にもカラーやセット、着付けやネイルなど様々な仕事があります。

次に勤務時間です。美容師の勤務時間は1日約八時間、一週間では約四〇時間から四四時間だそうです。また、忙しい時期は、三月、七月、一二月です。なぜかという、三月は卒業式や卒園式があり、一二月は年の終わりということもあり、年の最後に髪を切りたいや「一月は忙しいから一二月に行っておこう」というお客さんがたくさん来るそうです。

次に美容師になるためには美容師免許を取らなければなりません。そのためには、美容専門学校に行きます。美容専門学校では、カッティングやセッティング、シャンプーなど多くのことを学びます。

次に美容師のみりよくややりがいです。美容師をしていて良かったと思うことは、お客さんから「ありがとう」と言われることや喜ばれることだそうです。他にも忙しい時期を乗り越えたときや難しいことを成功したときにやりがいを感じるそうです。

次に年収です。美容師の平均年収は二八四万円です。

次にポイントです。美容師として必要なポイントは、「笑顔」「礼儀」「所作」「マナー」です。他にも「接客」や「信頼されること」があります。

私は、ポイントで行った「笑顔」「礼儀」「所作」「マナー」をこれから心がけていきたいです。そして、美容専門学校に受かるように勉強をがんばって行きたいです。

そして、庄内地区には美容室が中心部に比べて少ないので、将来美容師になったら、おじいちゃんやおばあちゃん、地域の人々の髪を切って少しでも恩返しができるといいです。

信頼される美容師を目指してこれからもがんばります。これで発表を終わります。

わたしたちの考える「庄内町の幸福論」

都城市立庄内小学校 6年 大野 愛里

わたしたちは、国語の学習で「町の幸福論」という学習をしました。その学習で、本当に豊かな「町の幸福」を生み出すためには、わたしたち一人一人が未来の町の姿を思いえがき、その姿に向かって主体的に町づくりに取り組むことが大切だと学びました。

そこでわたしたちは、庄内町の未来の姿を思いえがき、その姿に近づくためにできることを考えてみました。

発表は、このような順に進めます。(資料①)

さて、みなさん。庄内の町をながめて、どのような感想をもちますか。商店が少ないとか、若い人の姿が少ないなどという感想をもつことはないですか。休日でも、にぎやかな親子連れや友達同士で歩く若者の姿をあまり見かけません。町の通りを多くの人が行き交うようになれば、町全体がもっと明るくなると思いませんか。そこで、わたしたちのえがいた未来の町の姿はこれです。(資料②)「人々が行き交う活気あふれる町」。このような町を目指すために、何ができるのでしょうか。私たちの発表を聞いてください。

まず、わたしたちは、庄内町での取組を調べました。この写真を見てください。

(資料③) 交通の不便さを解消しようと、県内初の市民協働型コミュニティバスを運行しています。「町づくり協議会」が中心となって活動しています。高齢者の外出を促す役目を果たす、住民参加型の取組です。

次に、日南市の油津商店街の取組を調べてみました。(資料④) 商店を再生するために、継続的なイベント、集いの場のリニューアル、空き店舗の活用など、町と住民が一体となった取組をしています。もともとある商店と新しく開いた商店が協力し合って、主体的に商店街再生に取り組んだ成果があらわれています。

さらに、わたしたちは、「交通の便利さ」と「お店が少ない」という問題点について、本校の児童やわたしたちの保護者にその理由をたずねてみました。その結果がこれです。(資料⑤) やはり、交通については不便と感じる人が多いようです。お店が少ないのは、「お店を開いても、お客さんがあまり来ないのではないか」「高齢者が多いので新しいお店を開くことは難しいのではないか」という要因が考えられます。

そこで、調べたことを参考にして、「人々が行き交う活気あふれる町」を実現

するために、三つの提案をします。一つ目は、「店舗のリニューアルと新しい人材の確保を促すこと」です。人々が行ってみたいと思うような店構えを工夫することで、人々の足が庄内町に向くはずです。高齢者が多いという問題点を解消するために、若い人材を呼び込むことはどうでしょうか。きっと、新しい風が吹くと思います。二つ目は、「一風変わったイベントを継続的に行うこと」です。一度来てもらった人に、何度でも来てもらうためには、継続的に楽しいことを行うことが良いのではないのでしょうか。三つ目は、「コミュニティバスの路線沿いでイベントを行う」ことです。せっかく運行しているすてきなバスを活用しない手はありません。高齢者の方を楽しいイベントに誘って、高齢者が明るくなることで町を明るくしてもらいたいと考えます。

このような取組を続けることで、庄内町を多くの人が行き交うようになれば、コミュニティバスや商店を中心とした人と人のつながりが生まれ、今以上に笑顔あふれる明るい町になるのではないのでしょうか。

これで、わたしたちの発表を終わります。

事故のない町を目指して

都城市立乙房小学校 6年 内野宮 慶汰

皆さんは、歩道を歩いているとき、冷やっとしたことはありませんか？

ぼくは、ある日、自転車で学校の前を通りかかった時、前から歩いてきた人を避けようとしてしまいました。でも、うまく避けることができずに、学校の前にある花壇にぶつかり、横転したことがあります。幸いけがはありませんでしたが、このことをきっかけにして、事故の無い町を目指すには、どうしたらよいか考えてみました。

毎朝、ぼく達は、歩道を通って登校します。しかし、向かい側から人が来たら、よけて通らなければいけません。歩道の広さによっては、はみ出してけがをする危険性があります。そのようなことにならないためにも、事故につながる原因を改善する必要があります。

ぼくは、インターネットで、他の市ではどのような取組をしているのか調べてみました。

日向市平岩地区では、平岩小中学校や日向工業高校が建設されていましたが、

歩道が未完成のまま、児童の安全が不安定な状態でした。そのため、事故が起きやすくなっていたそうです。しかし、今は約400メートル区間、歩道ができました。事故を防いで安全な歩行空間が確保されているという例です。

この取組は、平岩地区の住民が、その地区の子ども達の安全を考えて、事故を防ぐため歩道を広くしたものです。平岩地区では、住民が主体となり活動しているのです。

そこで、これを参考にして、二つの提案をします。

まず一つ目は、庄内地区の歩道を広くして、児童の安全を確保することです。歩道が広くなれば、向かい側から来た人や、後ろから来た人とぶつからないようになり、自転車で横転したり、歩行者がけがをしたりすることが無くなります。二つ目は、歩道が無いところにも歩道をつくるということです。歩道をつくれば、車にぶつからずに、地域の人でも安心して歩くことができるようになります。

この提案で、庄内地区を事故のない安全な町にすることによって、歩行者やおじいちゃん、おばあちゃんを、事故やけがから守り、そして、散歩をする人、ランニングをする人、ウォーキングをする人、みんなが歩道を安心して使えるようになります。

このように歩道を整備すると、安心、安全な庄内地区になるのではないのでしょうか。

みんなで、事故のない安全な町を目指していきましょう。

庄内の良いところ

都城市立庄内中学校 1年 蒲生 帆柊

私の暮らす庄内地区には、素晴らしいところが、数多くあると思います。

一つ目は、この地区は大きな地区ではないからこそ、顔見知りの人との挨拶や小学校の頃から来てくださっている地域の人々との交流が生まれ、お互いに助け合うことができることが良い所だと思います。

二つ目は、昔ながらの伝統行事を子どもの頃から学び、大人になっても庄内の伝統行事に参加しているということです。このように多くの地域の行事を行うことは地域の誇りでもあり、伝統を守り続けることはとても大変なことだと思います。このように地域を大切にしている人が多いということは、地域の人々が私た

ちのふるさとを愛しているからだと感じています。

地域の交流行事は、春は、「願心寺での花祭り」、夏には「六月灯」、秋には、「ふるさと祭り」、冬には「おねっこ」と一年中、誰にでも誇れる行事があります。私はこれらに参加することで、世代を超えた人々との交流が深まり都会では味わえない「人との絆」を体験することができると思います。

自分でも当たり前になっていて気づいていませんでしたが、同じ都城でもこんなにつながりの深い地域は少ないと教えていただいたこともありました。

三つ目は、水がおいしく自然豊かな事です。誰が飲んでも、庄内の水はおいしいと感じると思います。また、その水で育てられた野菜やお米は格別でもあります。以前、採れた野菜のおすそ分けをして貰ったことがあります。心のこもった人の優しさを感じることができました。

しかし、こんなに良いところが多い庄内に、なぜ人が来ないのかと感じています。自然にあふれた関之尾滝、思いやりのある地域の方々、おいしい水、個性あふれる伝統行事、数えればきりがありません。

私は、何が足りないんだろうと考えてみました。思ったことは、庄内地区の良さの「アピール力」が足りないのではないかということです。現在、日本中いや世界中の人々がSNSで繋がっています。庄内の良さや素晴らしさを発信していくことで、もっともっと多くの人々が訪れる地域になり、賑やかで楽しい庄内地区になると思います。

また、以前から気になっていたのですが、庄内には空き家が多いように感じます。その空き家を利用し、人を呼ぶことはできないのかと思います。

私は現在、充実した日々を送ることができています。日々成長できるのも笑顔で接してくれる友達や地域の人々のお陰です。私は、庄内で生活できて幸せです。

さらに良い地域にする為に私ができることは、誰にでも笑顔で挨拶し、庄内のことをもっと知り、学習にしっかりと取り組み、私のこれからの目標に向かって努力していきたいと思います。

ご静聴ありがとうございました。

私の好きな庄内

私はこの庄内地区は、とても良いところが多くあると思います。今日はその庄内地区の事についてお話ししたいと思います。

まず庄内地区の良いところは、自然がとても多いところです。自然が多いので、空気がおいしく、水がおいしく、そして、人や動物や植物にとっても、とても住みやすい環境になっていると思います。

日本の百選にも選ばれている「関之尾の滝」もあり、庄内地区を代表する観光の名所になっています。私も今までに何回も行ってはいますが、いつも感じるのは、日本人だけでなく多くの外国人観光客の方も見られました。私たちが住んでいる地区に観光名所があることはとても誇らしいことだと思います。今後庄内地区が発展しても、この素晴らしい自然と風景は永遠に残って欲しいと思っています。

次に地域の行事が多く行われていることです。多くの行事が行われることで、普段コミュニケーションをとることの少ない高齢者の方々と子供達が触れ合うことができるので、とても良い環境だと思います。私も様々な地域の行事に参加してきました。お正月前には、「門松作り」に参加してきました。お年寄りの方々や子供達が一丸となりとても立派な門松を作り上げました。使用する竹を切って運んだり、土を入れたり普段では体験することのない体験ができました。門松づくりの終わった後には、婦人部の方々に作っていただいたカレーをみんなでいただきました。作業をした後にみんなで食べるカレーの味はいつもと違って格別なものでした。

また、私の通っている庄内中学校では、地域の方々と関わることのできるボランティア活動を行っています。テスト期間の時間を利用し「ミューズの空」、「白寿園」を訪問しました。文化発表会で歌った「夏の思い出」と「庄内中学校校歌」の2曲を歌いました。この活動を始めたきっかけは、私たち中学生に地域のためになる活動は何かできないだろうかと考え、生徒会を中心に活動してみることにしました。私たちの歌に感動し涙を流してくれる方々がいたり、一緒に歌ってくれたりしました。参加した中学生にとっても忘れられない体験をすることができました。今後は、さらに地域に貢献できる活動を行って行きたいと考えています。

このように庄内地区には都会では体験することのできない素晴らしい環境が数多くあります。私はそんな庄内が大好きです。これからも地区の行事に参加することで、私自身が地域の事をよく知ることができ、私の成長する上で大切なコミュニケーション能力を高めることができると思います。今年も多くの行事に参加し、自分の目標に向かって日々精進していきたいと思います。

ご静聴ありがとうございました。